

学校施設老朽化対策先導事業

～ 学校施設の長寿命化 ～

○ 背景

- ・ 建築後25年を経過し、老朽化した学校施設が約7割を占める
- ・ 国・地方とも厳しい財政状況の中で、これらの施設が更新時期を迎えつつある
- ・ 安全面や機能面等において改善を図ることが喫緊の課題



外装材の著しい劣化



老朽化による手すりの落下



トイレの老朽化による臭気の発生

○ 老朽化対策

(1) 計画的整備

「事後保全型」から「予防保全型」管理への転換、劣化状況・教育内容への適応状況等の適切な把握、中長期的な整備計画の策定が必要

(2) 長寿命化

改築より工事費が安価で、排出する廃棄物が少ない長寿命化改修に転換

(3) 重点化

余裕教室等の空きスペースの有効活用をより進めるとともに、地域の実情に応じ、公共施設との複合化や減築を行うことも必要

対策

○ 学校施設老朽対策先導事業

平成26年度予算：6,708千円

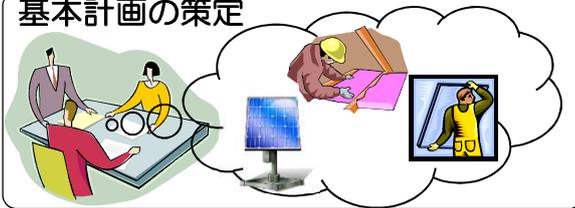
- ① 100年学校モデル（建築後100年程度使用することを目指した改修モデル）
- ② 優れたリニューアル改修モデル（多様な学習方法等への適合や省エネ化等の現代の社会的要請に対応した改修モデル）
- ③ 複合化・減築モデル（他の公共施設との複合化や減築を利用した改修モデル）

<平成25年度の採択実績>

- ・ 釧路市立大楽毛中学校
- ・ 世田谷区立深沢中学校
- ・ 生駒市立桜ヶ丘小学校
- ・ 習志野市立大久保小学校

3か年事業の初年度

基本計画の策定



【事業内容】

全国3地域程度の自治体において、学校設置者、学校関係者、地域住民、設計者等を交え、長寿命化改修の内容に関するワークショップの実施

【補助内容】

基本計画の策定に係る費用について財政支援(10/10)

3か年事業の2年目

基本設計・実施設計の実施



【事業内容】

初年度に実施したワークショップの結果を踏まえ、長寿命化改修の基本設計と実施設計を実施
※ 設計費は工事費に算入

3か年事業の最終年度

長寿命化改修工事の実施



【事業内容】

実施設計に基づき、長寿命化改修工事の実施

補助率（H25'時点）

1/3

事業費：実工事費

【補助内容】学校施設環境改善交付金による財政支援（事業の優先採択・補助単価の加算）